

Ocapi

Organization
Change
Process
Indicator

組織変革プロセス指標「オカピ」

より良い組織をめざして

Ocapiを使った話し合いの手順

- 1 レポートを見る前に、「ありたい姿」を話し合う
- 2 個人で「レポート」を読み込み、「感じたこと・気になったこと」を書き出す
- 3 レポートを見ながら「いま、何が起きているのか」「その背景には何があるのか」を話し合う
- 4 より良い組織に向けて皆で取り組みたいことや、一人ひとりが取り組みたいアクションを生み出す

話し合いのポイント

話し合いでは、自分たちの組織で何が起きているのか、日ごろから感じていることや体験していることをもとに、みんなが考えることが大切です。こうした話し合いをもとに、「今後どうしたいのか」「私たちのありたい姿に向けてできることは何か」ということについて、話し合うとよいでしょう。

そこで、話し合いをする際は、自分の考えや背景をオープンにしましょう。また、人の意見を否定したり決めつけたりせず、

なぜそのように思ったのか、その背景を理解しようとしましょう。また、組織によって望ましい状態は異なりますし、組織の状態は変わりやすいものです。そのため、数字の絶対値だけを見て判断したり、「レポートの点数が何点以上になればよい」という一般的な基準はありません。レポートを読む際は、プロパティの厳密な意味や正確な原因結果を探ろうとせず、今後どうしたいかを考えましょう。

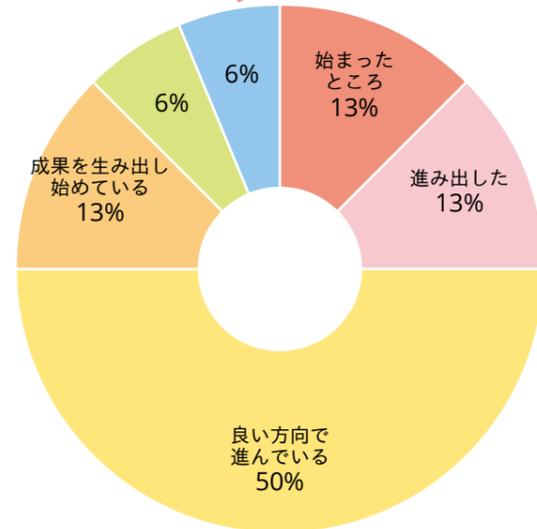
※ 活用資料ページの「話し合いの仕方ガイド」や「話し合いの場で使うスライド」に詳しい手順を載せています。ダウンロードしてお使いください (<https://ocapi.jp/resources.html>)

円グラフは、「変革の取り組みに対する捉え方」「結果の質」「エンゲージメント」に対するメンバーの認識を表しています。グラフの中の％は、該当する選択肢に回答した人数の割合です。

変革の取り組みに対する捉え方

あなたの職場における、職場を良くしていくための積極的な取り組み（変革の取り組み）の状況について、該当するものを選んでください（1つ選択）

- 変革が始まったところ 13%
- 変革が進み出した 13%
- 変革が良い方向で進んでいる 50%
- 変革が成果を生み出し始めている 13%
- 変革の成果がたくさん出ている 6%
- これから次の変革が始まりそう 0%
- 変革の途上で足踏みしている 6%
- 変革がまだ始まっていない 0%



※ 小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もあります

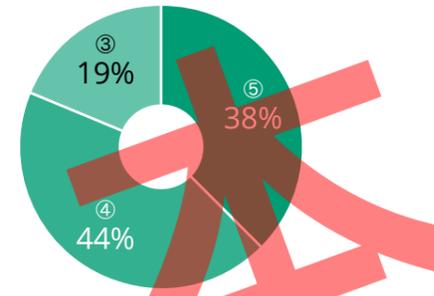
組織名	研究開発部（サンプル）		
回答者数	16	アンケートNo.	0052
回答期間	2013年10月31日～2013年11月7日		

結果の質

人的価値創造

Q 私たちの職場では、人々が学習し、成長し続け、より意味のある人生を実現しようとしている

平均点 ▶ 4.19



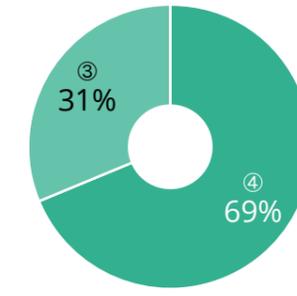
⑤ まったくその通り ④ ややその通り ③ どちらともいえない ② やや違う ① まったく違う

※ 8%以下は、グラフ内にラベルが表示されません

事業価値創造

Q 私たちの職場では、不断の改革やイノベーションによって、成果が高まり続けている

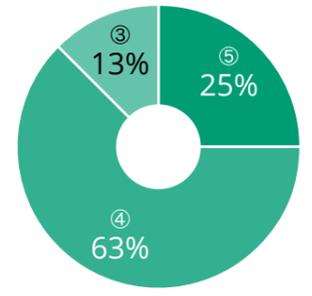
平均点 ▶ 3.69



社会的価値創造

Q 私たちの職場では、新たな社会的価値を創造し、提供し続けている

平均点 ▶ 4.13

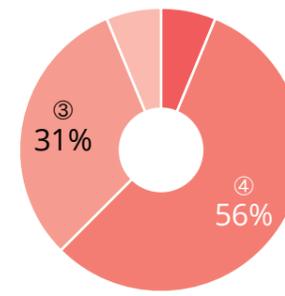


エンゲージメント

貢献感

Q 私はこの職場で組織や周囲に貢献できている

平均点 ▶ 3.63



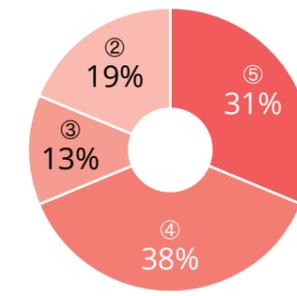
⑤ まったくその通り ④ ややその通り ③ どちらともいえない ② やや違う ① まったく違う

※ 8%以下は、グラフ内にラベルが表示されません

適合感

Q 私はこの職場で自分らしくいられていると感じている

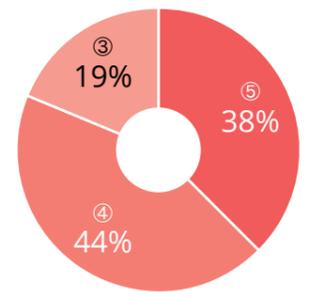
平均点 ▶ 3.81



仲間意識

Q 私の職場には、仕事を離れても付き合っていきたい仲間がいる

平均点 ▶ 4.19



※エンゲージメントとは…「組織（会社）」と「個人（社員・構成員）」が一体となって、双方の成長に貢献しあう関係です

関係・思考・行動のプロパティ平均一覧

関係の質 Quality of Relationships

レベル	プロパティ	説明	プロパティ平均	レベル平均
1	a	挨拶	お互いに自然な挨拶をしている度合い	4.56
	b	声掛け	誰とでも軽い世間話をしている度合い	4.81
				4.69

レベル	プロパティ	説明	プロパティ平均	レベル平均
2	c	つながり	普段から気兼ねなく話せる人の多さ	3.88
	d	会話量	会話量の多さ	4.38
				4.13

レベル	プロパティ	説明	プロパティ平均	レベル平均
3	e	ありがとう	感謝の言葉が自然に出ている度合い	4.44
	f	活気	みんなの雰囲気明るさや表情の柔らかさ	4.13
	g	尊重	役職や経験にかかわらず、お互いが一人の人間として関わり合っている度合い	3.94
				4.17

レベル	プロパティ	説明	プロパティ平均	レベル平均
4	h	背景理解	相手の仕事や状況を理解し合っている度合い	3.50
	i	率直さ	自分の考えや気持ちを素直に伝え合っている度合い	3.56
	j	横断	他のグループの人たちとのつながりやコミュニケーションの度合い	4.06
				3.71

レベル	プロパティ	説明	プロパティ平均	レベル平均
5	k	一体感	自分たちの活動への想いやビジョンを共有している度合い	3.81
	l	協働	既存の役割や立場を超えて協力し合っている度合い	3.81
	m	信頼	お互いを信じ、受容し合っている度合い	3.44
	n	越境	これまでの習慣や活動の領域を超えて社外の人々と関わり合い、ビジョンを語り合っている度合い	3.13
				3.55

組織名	研究開発部 (サンプル)
回答者数	16
アンケートNo.	0052
回答期間	2013年10月31日 ~ 2013年11月7日

思考の質 Quality of Collective Thinking

レベル	プロパティ	説明	プロパティ平均	レベル平均
1	a	関心の広がり	目の前の出来事や相手の意図に関心を寄せている度合い	4.06
	b	共同思考	話し合ったり、一緒に考えている度合い	4.31
				4.19

レベル	プロパティ	説明	プロパティ平均	レベル平均
2	c	受け止め	今の状況や、困難・不確実なことを受け入れている度合い	3.69
	d	ポジティブ思考	今の状況や出来事、良い側面や可能性に着目している度合い	3.75
	e	行動意欲	可能性に目を向け、まず行動を起こしてみようという意欲の高さ	4.06
				3.83

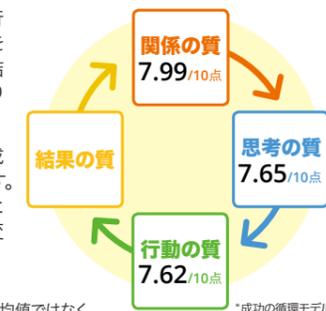
レベル	プロパティ	説明	プロパティ平均	レベル平均
3	f	未来感受	未来のありたい姿や実現したい状態を日々の中でお互いに意識している度合い	3.56
	g	当事者意識	周囲に起きていることを自分事として考えている度合い	3.25
	h	システム思考	複雑さを受け止めて、柔軟に物事を捉えている度合い	4.00
	i	内省	自らの行いと、その背景にある考え方や動機を振り返り、見直している度合い	3.25
j	発想	これまでのやり方や枠組みを超えて、新しいアイデアや方法を生み出している度合い	3.88	
				3.59

レベル	プロパティ	説明	プロパティ平均	レベル平均
4	k	探求	自分たちが生み出したい価値を問い続けている度合い	3.81
	l	確信	いま起きていることに意味があり、未来は必ず良くなると信じている度合い	3.75
	m	互惠	自分が成長すればみんなが成長し、みんなが成長すれば自分が成長すると確信している度合い	3.78
	n	視座	自分たちの影響範囲を、より広く、より長期的にイメージし、さまざまな視点から物事を考えている度合い	3.69
				3.76

レベル	プロパティ	説明	プロパティ平均	レベル平均
5	o	意味創造	人々や社会にとって、より望ましいビジョンを生み出し、活動を通して、自分たちが存在する意味を進化させ続けている度合い	3.69
				3.69

関係・思考・行動の総合得点

- 「関係の質」「思考の質」「行動の質」が高まる好循環を生み出すことによって、「結果の質」の向上につながります
- この総合得点は、各質の成熟度の高低を表しています。継続的にOcapiを取ったときに、全体的な成熟度の変化が見やすくなります



※それぞれの総合得点は、設問の平均値ではなく、設問のウェイトを掛け合わせて算出しています(10点満点)
成功の循環モデル

出典: Daniel H. Kim (2002). Organizing for Learning. Singapore: Cobee Trading Company.

行動の質 Quality of Actions

レベル	プロパティ	説明	プロパティ平均	レベル平均
1	a	笑顔	自然な笑顔が見られる度合い	4.50
	b	フレンドリー	雰囲気が明るく開放的で、居心地が良い度合い	4.56
				4.53

レベル	プロパティ	説明	プロパティ平均	レベル平均
2	c	アジャイル	アイデアが出たときの、共有や相談、取り掛かりなどが起きる速さ	3.81
	d	行動変容	今までの考え方や習慣にとらわれずに行動を変化させている度合い	3.44
	e	支援	周囲の人々を支援しようとする行動を皆が取っている度合い	3.94
				3.73

レベル	プロパティ	説明	プロパティ平均	レベル平均
3	f	新たな習慣	今までの枠組みを超え、新たな規範や習慣づくりに挑戦している度合い	3.47
	g	主体的行動	ありたい姿に向けて、自分ができることを見つけて行動している人の多さ	3.38
	h	誠心誠意	目の前の一つひとつのことに誠実に向き合い、ひたむきに取り組んでいる人の多さ	3.75
				3.53

レベル	プロパティ	説明	プロパティ平均	レベル平均
4	i	ボランティア・チーム	ありたい姿に向けて、自然と必要な人が集まり、質の高い検討や実践が自主的に行われている度合い	3.75
	j	洞察・配慮	微細なことが周囲に重要な影響を及ぼしていることを理解して、深い配慮のある行動をする人の多さ	3.44
				3.59

レベル	プロパティ	説明	プロパティ平均	レベル平均
5	k	自己組織化	自然にできたチームによる取り組みが、重要な施策になっている度合い	3.69
	l	共創行動	人々の知識や経験・思考が融合し、全体が一つとなって新しいものが創造される度合い	3.25
				3.47

■関係・思考・行動のプロパティ平均一覧では「プロパティ平均(アンケート回答者全員の回答を集計した平均点)」とそのグラフ、及び「レベル平均(各レベルに含まれる「プロパティ平均」の平均点)」を表示しています。「レベル平均」は、レベルの平均点が4.0以上の場合、ニコニコマーク😊を表示しています。(各プロパティに対応する設問は必ずしも1つではありません。また、プロパティの説明文は、設問文とは異なります)

■各プロパティに対応する設問について、回答者は5段階(「5まったくその通り」「4ややその通り」「3どちらともいえない」「2やや違う」「1まったく違う」)で回答しています。

■それぞれの質ごとにどのレベルまで高まっているかといった縦の深まりを確認したり、「関係の質」の「思考の質」への影響や、「思考の質」の「行動の質」への影響といった横への連鎖も見ることができます。

■関係・思考・行動の質のプロパティに影響を与えそうなイベントや施策を行ったとき、その直後にはそれに関するプロパティの平均点が高くなりますが、数週間経過すると元の状態に戻る傾向があります。しかし、プロパティによっては元に戻らないものもあります。その場合、そのプロパティに関しては、確実に高まったといえます。



株式会社ヒューマンバリュー
〒102-0082 東京都千代田区一番町18番地
川喜多メモリアルビル4階
TEL : 03-5276-2888 (代) http://www.humanvalue.co.jp/

【お問い合わせ】
本アンケートについてのお問い合わせは、
ocapi@humanvalue.co.jp まで、お願いいたします。